



みみよい

「ごあいさつ」

坪井 順子

連日、猛暑が続いておりますが、皆さまいかがお過ごしでしょうか。

昨年は、豪雨や台風の直撃など、堺市でも相次ぐ被害がりました。南海トラフ地震も危惧されているところです。

最近、気象庁が発表する警報の中に「特別警報」の文字がよく見られます。警報の基準をはるかに超える大雨や暴風、波浪、高潮、暴風雪、大雪等、気象に関する6つに加え、津波、火山噴火、地震に関する特別警報があります。テレビでは、紫や黒で表示されていますね。これらの特別警報が出た場合は、お近くの避難所へ避難をしたり、ご自身の身を守るための行動を早めにとってください。「避難行動要支援者」の事前登録の案内も再度、各ご家庭に配布されるそうです。対象の方がおられましたら、ぜひ、この機会に登録をされてはいかがでしょうか。

6月末には、さかい聴覚障害者防災ネットワークを中心に「避難所シミュレーション」を行いました。また、センターでは地域での防災訓練や避難訓練の情報をその地域にお住まいの利用者にお伝えし、参加していただいています。災害対策の第一歩として、避難所を確認したり、さま



ざまな訓練を体験したりする中で、地域の方々と自助・共助のための連携の輪が広がればと思います。

「夏休み子ども企画」で楽しみました

恒例の子ども企画、今年も7月26日(金)にパントマイム教室、7月31日(水)に工作教室を実施しました。

パントマイム教室の先生は西尾綱巳さん。子どもたちがイメージしやすいようボールやロープを使って練習した後、実際にパントマイムをやってみました。聞こえない子どもたちはイメージするのがとても上手！そこにはないはずの「壁」が出現したり、ジェットコースターが動き出したりします。見ているスタッフも楽しく、1時間半があつという間に過ぎてしまいました。

工作教室では「飛び出す絵本づくり」に挑戦。お話を考え、台紙を作り、そこに仕掛けを貼っていきます。今年も個性豊かな絵本が出来上がりました。作るうちにストーリーがどんどん膨らみ、制作時間が足りなかったほど。出来上がった絵本を大事そう



もしサロン 筆談会の部

文字で内容を確認しながら、おしゃべりを楽しむ交流の場です。

- 7月4日 参加者2名
テーマ:「難聴理解かるた」を使つての補聴器の話
- 8月3日 参加者4名
テーマ:熱中症について・暑い時のおすすめ食べ物



次は
9月10日(火) 午後2時~4時
10月5日(土) 午前10時~12時

どちらも2階 研修室にて
事前申込は不要です。
毎月開催しています。お気軽にご参加ください。

(担当: 芦田・阿部)

に抱え、一人ずつ「読み聞かせ」もしてくれました。紙面では動画をご紹介できないのが残念です。
8月24日(土)には親子クッキングを開催します。報告は次号で。どうぞお楽しみに。



みみサロンを開催しました



7月20日に「エンディングノート」の活用方法について、司法書士事務所「ともえみ」の代表者である山口良里子さんにお越しいただきました。堺市では南区・

西区・堺区・中区の4つの区でエンディングノートを作成し、無料で配布しています。堺市のサイトでダウンロードし、手に入れることも可能です。今回は、そのエンディングノートを活用しながら講演いただきました。

エンディングノートは自分が終末期になったときや、倒れて話ができなくなったときのために、周りの人に自分の希望を伝えるためのものというイメージが強いですが、「元気なときから自分の生活・財産・「過去・現在・未来(将来)」のことを整理するためにもとても有効です。たくさん書き込んで、書き直しても大丈夫です。まずは自分の生い立ちや家系図など、書きやすい内容から書いていくといいとアドバイスをいただきました。

エンディングノートは市販のものもたくさんあり、自分で書きやすいように手作りしても構いません。自由性の高いもので良い面はたくさんあるのですが、法的効力はありません。エンディングノートに書いたからといって、希望している内容がそのまま実現するとは限りません。特に、相続に関しては不安がある場合は遺言書や公正証書を作成することをおすすめします。また、心配ごとがあるときは一人で悩まずに、司法書士や弁護士、相談員などの専門家に相談することも、将来のためには大事なこととなりますね。参加者からも「できることから始めようかな!」という声がありました。講演いただいた山口さん、ありがとうございました。



※堺市で配布されている4つのエンディングノートは、センターでも閲覧可能です。みなさんも一度はご覧になってくださいね。



防災に関する意見交換会を開催しました

8月8日、堺市社会福祉協議会(社協)からご相談をいただき、「防災」をテーマとした意見交換会を開催しました。堺市での聴覚障害者関連の当事者団体(ろうあ者福祉協会・きこえ支援協会・盲ろう者の会)・さかい聴覚障害者防災ネットワークの代表と、地域での民生委員(障害者福祉委員)の方が集まり、意見交換会を行いました。

まず、各当事者団体の代表から「ろう」、「難聴」、「盲ろう」それぞれの障害特性を説明し、日常、どんなことで困っているのかを民生委員に伝えま

した。また、防災ネットワークの代表からは、聴覚障害者が防災に取り組む理由や、現在の活動状況を紹介しました。民生委員からも防災に取り組んでいる地域からの活動紹介があり、聴覚障害者がどこににいるかわからないことや、災害時は地域の実情を把握することが先決となるのお話もありました。障害者自身も地域の人に発信したり、自力で避難する準備をしておく必要があるという事です。課題はありますが、まずはお互いに日頃から交流することが重要ということで、今回で終わらないように今後も関わっていきましようという約束し、締めくくりました。

「さかい聴覚障害者防災ネットワーク」は、市内の当事者団体と支援団体等で構成されている団体です。日常的に情報が入りにくくなる聴覚障害者が、発災時、少しでも安心して避難生活を送れるように、会議を重ね、学習会や防災訓練、また、地域の危険箇所を確認する「まち歩き」などの活動をしています。センターもみなさんのお手伝いをしています。



11月のみみサロンは「さかい聴覚障害者防災ネットワーク」のご協力をいただき、防災学習を開催します。「日頃の備え」は、何度も繰り返すことで身につきます。たくさんの方のご参加をお待ちしております。

災害に備え、登録しましょう

避難行動要支援者一覧表

昨年は、大阪でも地震や台風の被害が相次ぎました。情報が入りにくい聴覚障害者。特に、テレビのニュースでも取り上げない地域の情報は入手しにくくなります。

堺市では、「災害が起こったとき、支援をしてほしい」という方々に対し、さまざまな取り組みをしています。そのひとつが「避難行動要支援者一覧表」という名簿の作成。名簿を市と地域の支援者の方々と共有し、日頃の見守りや災害時の安否確認等に活用します。

今年9月中旬に、対象となる方(下枠A)のご自宅に右図のような申請書が届きます。名簿に名前を載せてほしい方は、以下の手続きをしてください(下枠Bの情報を載せます)

- 申請書の①「同意・署名欄」に住所と氏名を書く。
- ②の表に必要な事項を書く(③に「聴覚障害者」と書く)。
- 申請書を返信用封筒に入れて返送する。

※昨年の9月以降に申請書を返送した方や転居された方、平成24年度から26年度に「民生委員の訪問調査を希望しない」と回答された方にも届きます。

※地域の民生委員児童委員のご協力を得て、訪問調査を行う場合があります。

申請書のサンプル

〒〇〇〇-〇〇〇〇 (小学校区名:19>NNNN)

堺市 〇区 〇〇〇町
〇〇-〇〇-〇〇
〇〇 〇〇 様

避難行動要支援者登録申請書

堺市長 宛
私は、地域の避難行動要支援者支援の取組みに賛同し、下記の通り申請します。
申請した私の個人情報を、避難支援のための取組みや普段の見守り活動に使用するため、地元校区の自治連合会長、各自治会長、校区福祉委員長、民生委員児童委員、自主防災組織責任者、警察、堺市に提供することに同意いたします。また、この申請内容について、民生委員児童委員の確認や訪問調査があることを了承いたします。
(同意・署名欄) 令和 年 月 日

① 住所 _____
氏名 _____ (代理人氏名) 続柄 ()
※住所・氏名を本人が自署する場合は、押印を省略する事になります。

②

家族	氏名	続柄	年齢	問題の有無	電話・携帯
(主な介護者を記入してください。)				有・無	
				有・無	

緊急連絡先

氏名	(続柄)
連絡先	(TEL・携帯)

③

身体の状態等	歩行	会話	食事	トイレ	※それぞれの項目について該当する文書を○で囲んでください。(以下、同じ)
	できる ・ 一部介助 ・ できない				

災害時の避難所までの移動手段

自力で避難可能 ・ 車いす ・ 担架 ・ その他()

住居の種類

一戸建て ・ 高層住宅 ・ 低層集合住宅(3Fまで) ・ その他

災害時に声かけをお願いできる方が近所にいますか? 有 ・ 無

特記事項(避難時、地域の方に、特
に知っておいてもらいたいことがあれば記入してください。)

(例:聴覚障害のインスリン注射、人口呼吸器の使用など)

A：申請書送付の対象となる方

- 身体障害者手帳1・2級所持者(免疫障害除く)
 - 療育手帳(A)所持者
 - 精神障害者保健福祉手帳(1級)所持で独居
 - 「要介護3」以上の要介護認定者
 - 世帯全員が70歳以上(独居含む)かつ、要支援1・2又は要介護1・2
 - 緊急通報装置登録者(高齢者・障害者)
 - 特定医療費(指定難病)受給者証所持者
- ※ご自宅で生活されている方のみ。施設等に入所されている方は対象外です。

B：一覧表(名簿)に載る個人情報

- 住所 ・ 氏名 ・ 年齢 ・ 性別
- 身体の状態(歩行・会話・食事・トイレ)
- 避難手段
- 地域の方に知っておいてもらいたいこと

C：一覧表(名簿)提供先

- 校区自治連合会長
(校区により単位自治会長まで提供します)
- 校区福祉委員長 ・ 校区自主防災組織責任者
- 民生委員児童委員 ・ 消防局

日頃の備えが大切です!

大災害のときは、周囲の人も被害を受けています。名簿に名前を載せていても、地域の役員さんは助けに行けないかもしれません。

- 地域の避難所の場所や安全な行き方を確認しておく。
- 近所の人に、自分が聞こえないことを知ってもらう。
- 地域の避難訓練に参加する。

など、自分でできる準備をしておきましょう。

地域の防災訓練には、手話通訳者・要約筆記者を派遣しています。防災の知識を身につけるだけでなく、地域の人と顔見知りになる機会にもなります。ぜひ、参加してくださいね。

問い合わせ先：堺市長寿支援課

TEL：228-8347 FAX：228-8918

または視覚・聴覚障害者センターへ

手話奉仕員・通訳者養成講座

楽しく学べる「市民向け講座」

まだ始まっていない東区を除いて、市民向け手話講座にのべ445人、平均で1回約15人の方にご参加いただきました。今後も引き続き講師研修を重ねて、楽しい講座作りを進めていきます。

要約筆記者養成講座

いよいよパソコン実技！

長時間の講義が終わり、パソコンを触っています。お盆休みがありますが、タッチタイピングを頑張ってくださいね。

センターの行事

9月13日(金) 13:30~16:30

「補聴器相談」 ※予約制

9月21日(土) 14:00~16:00

「みみサロン」 ※事前申込

山登りの楽しみ方と災害にも使える用品の紹介

10月26日(土) 14:00~16:00

「保護者学習会」 ※事前申込
ろう・難聴児の心の発達と

コミュニケーション

毎週木曜日 12:30~12:45

ミニ手話講習会「手話っぴい」

～難聴者のためのコミュニケーション
教室(初心者コース)開催～

※定員10名(選考)・申込受付9/2～

9/26(木)～12/19(木) 14:00～16:00

詳細は「広報堺9月号」をご覧ください

ビデオライブラリーのおすすめ

「ハートネットTV WEB連動企画 “チエノバ”

これだけは知ってほしい！聴覚障害の悩み」

聴覚障害者といっても、全く聞こえない人から補聴器で少し聞こえる人、生まれつき聞こえない人、途中で聞こえなくなった人などさまざまです。しかし聴力に違いはあっても、日常生活で不便を感じることに共通点は多い。番組では視聴者から寄せられた意見を紹介しながら、聴覚障害者の抱える悩みについて、ろう者のゲストと共に考えていきます。

「ハートネットTV シリーズ 戦後71年

第2回 わたしが見た“ろう者の戦争”

自らも聴覚障害のあるディレクターが、ろう者の戦争体験を取材。視覚障害者を中心に障害者の戦争について調べている盲教育史研究会の事務局長と、30年にわたり被爆ろう者の証言を集めている手話通訳者、2人のゲストを交えて障害者の戦争について考えます。

頑張っています 手話通訳・要約筆記登録者

済 登録者合同研修 6/22・要約筆記者実技研修(PC)7/16
登録者合同研修 7/27・手話通訳者実技研修 8/3
手話通訳者研修 8/24「手話通訳のあり方・動き方」
要約筆記者実技研修 9/7「ノートテイク技術」
手話通訳者実技研修 9/28「読み取り通訳」
登録者合同研修 10/4「精神保健と病気の理解(仮題)」
手引き研修(登録者合同) 10/9「盲ろう者の会との交流」
手引き研修(手引き登録者のみ) 10/19「実技」

台風等に伴う休館のお知らせ

対象：大雨特別警報・暴風特別警報・暴風警報

7時の時点でのいずれかが発令

→9時～休館

10時の時点ですべて解除→13時～開館

15時の時点ですべて解除→17時～開館

事業状況

		手話通訳		要約筆記		ライブラリー	
		個人	講演	個人	講演	利用者数	貸出数
6月	派遣数	235件	19件	14件	11件	33人	70本
	派遣人数	244人	46人	28人	33人	新規登録者：4人	
7月	派遣数	253件	22件	13件	13件	19人	50本
	派遣人数	263人	56人	27人	46人	新規登録者：5人	

ご協力
ありがとうございました

